

No.20

2003年1月1日

いい旅

いい仲間

Peace
Green
Humanity

発行所：(株) 富士国際旅行社

編集者：「いい旅いい仲間」編集委員会

〒160-0022 東京都新宿区
新宿2丁目11-7 第33宮庭ビル4階

☎ 03-3357-3377 FAX 03-3357-3317

E-mail：gm@fits-tyo.com

URL：www.fits-tyo.com

印刷所・光陽印刷(株) 発行部数/25,000部

新年

あけまして

おめでとうございます。

二〇〇三年 元旦 社員一同



写真手前・海老しんじょう、右・車海老のココナツツ蒸し
左・パイアのサラダ、奥・揚げ春巻き

本日は旅行先としても人気があるベトナムの食文化を取材するため、ベトナム料理店「Yサイゴン」に訪問し、エスニックとモダンが絶妙に調和する、本場ベトナム人シェフが作ったベトナム料理を前にお聞きしました。



TRUNG（チュン）さん

VIETNAM

ベトナムの食文化にふれる

ハノイとホーチミン市との料理の味の違いは……

ベトナムは細長い国で、大きく分けて北部のハノイ、中部のフエ、南部のホーチミン市に分ける事ができます。味付けは、ハノイは調味料が辛く、中部のフエは古都であったため王宮料理の影響があるように食材は贅沢です。特徴は酸っぱく辛い料理が多いです。ホーチミン市は

全体的に甘めの味付けとなっています。

長い歴史を持つハノイは、百年以上歴史を持つ老舗もありります。

ベトナムの食と言えば

生春巻き

はい。春巻きは有名です。生春巻きはもちろん揚げ春巻き



フエ・阮王宮

もとても美味しい料理の一つです。ベトナム旅行をすれば必ず一回は食べると思いますが、春巻きの皮は米粉を薄く伸ばしたものに、エビや野菜を包んで食べるのが生春巻き（ゴイ・クオン）です。タレはヌオック・マムという、魚からつくった醤油です。このヌオック・マムがないとベトナム料理が引き立ちません。ヌオック・マムは独特の香り

はいい。本場のヌオック・マムは日本の醤油と違って癖があります。外国から来たお客様には少し香り、味付けが薄い物を出していますので、ご安心ください。

フォーの本場と種類

皆さんがベトナムに行くときにベトナムうどん「フォー」を思いつくはずです。米粉を蒸して作る麺で、ハノイが本場です。フォーの種類は二種類です。まず、麺の種類は生麺と乾麺の二種類があります。乾麺は南部



ハロン湾



お正月の食べ物・パンチェン



ベトナム料理店 Yサイゴン
代官山店・渋谷区南平台町8-11
TEL.03-5428-3184
横浜店・横浜市西区高島2-6-32 横浜日産ビル2 F
TEL.045-440-5070

のホーチミン市の名物麺です。スープも鶏肉から摂ったスープと牛骨から摂ったスープの二種類からなります。それ以外にベトナム麺の料理は数多くあります。ベトナム人にとってフォーは朝ごはんです。早朝六時から八時頃までが、麺屋が一番賑わう時間帯です。

麺はすべてフォーと思っています

それは違います。（笑い）基本的にフォーと同じ米粉を使用しますが、水に溶いてよく練ってトコロテンを作る時と同じように容器に入れて押し出してゆでた生麺もあります。また米麺だけではなく日本と似たような中華麺もあります。

ベトナム人はスタイルが良いのは料理のせい？

それは料理に関係ないでしょうね。（笑い）特に女性は、アオザイを着るために努力をしていると思います。

やっぱり人間は努力が必要ですね。（笑い）

お正月の食べものは……

ベトナムの正月の食べ物は「パンチェン」が有名です。バ

ンチェンは米でつくったケーキです。日本のちまきに似ています。正月の時期になると店の前にたくさん積みまれています。ほとんどのベトナム家庭で食べられています。

いいえ、しません。ほとんど家の中で過ごします。昔は爆竹を鳴らしてお祝いをしました。が、今は禁止されて静かなお正月です。

本日はお忙しい中、ありがとうございました。

ベトナムの自然と文化にふれる旅

ベトナムの世界遺産を巡る旅

フェ（王宮）とホイアン（日本人街）

7日間

- 3月26日（水）～4月 1日（火） 225,000円
4月16日（水）～4月22日（火） 223,000円
5月21日（水）～5月27日（火） 223,000円
- 行程：ホーチミン②→フェ①→ホイアン②→機中①
- 日本ともなじみの深い街ホイアン、最後の伝統王朝が開いた都フェは2都市ともに町自体が世界遺産。雅なベトナム文化にふれます。
 - 枯葉剤の被害や虐殺、アメリカ軍の武器や戦車など、ベトナム戦争の状況を告発する戦争証跡博物館を訪れます。
 - フランス統治時代の面影を色濃く残すホーチミンは、にぎやかでかわいらしいお店も多く、女性に人気です。

自然がおりなす美しさを持つハロンと首都ハノイ

ベトナム平和と自然の旅

6日間

- 3月24日（月）～3月29日（土） 199,000円
4月21日（月）～4月26日（土） 198,000円
5月26日（月）～5月31日（土） 198,000円
- 行程：ハノイ③→ハロン湾①→ハノイ①
- 世界遺産登録の「ハロン湾」の神秘的な風景や湾内に突き出た奇岩の間を船で巡ります。
 - 首都ハノイでは、革命博物館や文廟、市場などを見学。夜はベトナム伝統芸能の水上人形劇を観賞します。
 - ハノイでは枯葉剤の影響で障害を持った子ども達が治療やリハビリを行なっている「ハノイ平和村」を訪問します。

少数民族村へのハイキングと棚田を見る

ベトナム高原都市サ・パとハノイ

6日間

- 5月26日（月）～5月31日（土） 218,000円
6月26日（木）～7月 1日（火） 218,000円
- 行程：ハノイ①→車中①→サ・パ②→ハノイ①
- ハノイから北西へ約250キロ、標高1600mに位置する高原都市サ・パ。ハノイから寝台列車で約10時間。
 - サ・パは高地に位置するため避暑地として有名な場所。美しい山々に囲まれた田園風景と少数民族の村へのハイキングをして生活などを見学します。

韓国・中国・台湾の旅

世界遺産を巡る

韓国 歴史浪漫の旅

7日間

- 3月26日（水）～4月 1日（火） 195,000円
4月16日（水）～4月22日（火） 195,000円
5月28日（水）～6月 3日（火） 195,000円
- 行程 慶州③→儒城②→ソウル①
- *新羅、百済の古都をゆったり巡り、散策の時間も
 - *世界遺産に登録された仏国寺、石窟庵、海印寺、宗廟をじっくりと、時間をかけて見学
 - *慶州と公州の国立博物館も見学して見聞を深めます
 - *韓国の民俗舞踊も楽しめます

戦争と平和・真実は何か1937南京を検証

中国平和の旅

8日間

- 3月26日（水）～4月 2日（水） 213,000円
4月16日（水）～4月23日（水） 215,000円
5月28日（水）～6月 4日（水） 215,000円
- 行程 上海②→紹興①→上海①→南京②→上海①
- *南京大虐殺記念館見学はもちろん、証言者のお話も伺い、日本軍の蛮行を自分の目・耳で確かめます。
 - *紹興で女性革命家「秋瑾」の故居などを見学して解放運動の歴史を考えます。
 - *発展めざましい上海で租界地区としての古さと近年の経済発展の新鮮さを感じていただきます。

見渡す限りの棚田と多彩な文化にふれる

雲南省の自然と古都

8日間

- 2月26日（水）～3月6日（木） 238,000円
3月26日（水）～4月3日（木） 199,000円
- 行程 石林①→建水②→元陽①→麗江②→昆明②
- *元・明・清時代の古寺や建物の残る街「建水」で2泊して、街から約30キロの場所にある燕子祠。この名前の由来でもある燕がたくさんの巣を作っていることでも有名。
 - *麗江では、標高5596mの玉龍雪山を望む世界遺産の古都にナシ族が住み、独自の原始的な象形文字（トンパ文字）を持つ民族の音楽や舞踊を鑑賞します。

独立運動史と柳寛順の故郷へ

韓国 歴史と平和の旅

5日間

- 3月24日（月）～28日（金） 158,000円
4月21日（月）～25日（金） 155,000円
5月26日（月）～30日（金） 155,000円
- 行程 温陽②→ソウル②
- *82年の教科書問題をきっかけに設立され、再び注目あびる韓国独立記念館をしっかりと説明付きで見学します
 - *元慰安婦のハルモニたちが共同生活をしているナナムの家を訪れ、日本軍慰安婦歴史館をボランティアの案内で見学

証言731部隊と平頂山事件

中国平和の旅

8日間

- 4月16日（水）～4月23日（水） 235,000円
5月28日（水）～6月 4日（水） 235,000円
6月25日（水）～7月 2日（水） 237,000円
- 行程 北京②→ハルビン②→瀋陽②→北京①
- *ハルビンでは731部隊で何が行われていたか。証言者のお話を伺って日本軍の犯した事実を再確認します。
 - *満州事変勃発地、柳条湖で九・一八事変博物館や平頂山殉難同胞遺骨館などを見学。平和への思いを新たにします。
 - *北京では日中戦争勃発の地、盧溝橋抗日記念館も見学します。また、故宮博物院や京劇の観賞も楽しみの一つです。

国民学校一年生の会・企画

台湾平和の旅

5日間

- 5月13日（火）～5月17日（土） 152,000円
- 行程 台北①→台中①→台北②
- *霧社で蜂起した先住民族の抗日運動を通して、どのように起こり何を残したのか関係者のお話を聞き考える旅です。
 - *中部台湾随一の景勝地「日月潭」や故宮博物院をじっくりガイドさんのご案内で見学します。
 - *植民地時代の国民学校を検証する歴史と平和を考える旅。
- ※この旅行は、国民学校一年生の会会員でなくともご参加できます。

「もう一度行きたいベトナム」

ースタディツアーを通して



国際基督教大学ユネスコクラブ 柳澤敦子

◆大学生らの出会い◆

私はきつともう一度ベトナムに行くだろう。いつかはわからないが、はつきりと感じる。「ベトナムに来てくれてありがとう。たくさんある行き先の中からベトナムを選んでくれて本当にありがとう。」ベトナムで私たちを夜のバイクドライブに誘い、カフェやカラオケにつれていってくれたベトナムの大学生にお礼を言うと、お礼を言うのは自分たちのほうだと言葉が返ってきた。

ベトナム料理は本当においしい。アオザイもとてもきれいだ。でも私がベトナムにもう一度行きたいと思うのは、そこで出会った人々にもう一度会いたいと思うから。

ベトナムでの数々の出会いの中でも冒頭の大学生らと出会ったことの影響は特に大きい。自分と同年代の学生と文字通り「遊んだ」ことで、ベトナムに親近感を覚えるようになった。

◆感動した友好村◆

ラオケに行き、私を妹のようにかわいがってくれた彼女と一緒にバイクでハノイの街を走りたいと思う。

もう一つベトナムにもう一度行かなくてはと私に思わせるのは、ベトナムで一番衝撃を受けた友好村だ。友好村は米軍の元兵士が呼びかけて設立された、枯葉剤の被害で障害を持った子どもたちや元兵士の方々が暮らす施設である。私たちはそこで子どもたちと一緒に遊び、スタッフの方が草抜きするのを手伝った。子どもたちは私たちに写真をとってくれるよう抱きついてきたり、ドラえもんを歌を歌ってくれたり和本当にかわいく、私は予想以上の彼らの明るさ、元気に嬉しくなった。そこで働くスタッフの方も、皆いつもにこにことして子ども達に向ける視線が温かく、私は友好村の雰囲気が好きだった。

それにもまして友好村の精神が私を感動させた。今は元気な子どもたちもこの施設にくるまではきつと辛い体験をしたことだろう。また彼らのように枯葉剤で障害を持った子どもたちは

ベトナム全土で相当数おり、今も生まれつづけている。にもかかわらず所長さんは「アメリカの兵士が悪いわけではない。彼らは政府の命令で仕方がなかったんだ。私たちはアメリカの人々（が友好村に来ることを歓迎するよ）」とおっしゃったのだ。友好村の事を知り、最初はベトナムの人々は過去のことを忘れないようにしながらも、かつての敵国の人々とも仲良くしようとしているのだと思っていた。しかし所長さんの話を聞き、ベトナムの人々と敵国の人々、しかも元兵士だった人々が協力

して過去のことを忘れないようにしているところが友好村に平和を築いているのだ感じた。村を歩くと優しいまなざしで子どもたちを見つめる所長さんに子どもたちが抱きついてきた。子どもたちの笑顔と働いている方の子どもたちに向けていたあたたかいまなざしに、今度はおもつと長く彼らと一緒に暮らしたいと思った。

もう一度ベトナムに行きたい。そして大学生や友好村のみなどともう一度会いたい、ベトナムから帰ってきてからそんな思いが募る。

新年あけまして

おめでと〜ございます

富士国際旅行社社長 市原芳夫

何という二十一世紀だろう、今年もまた戦争の臭う新年となつてしまいました。

悪政による絶望的な経済状況の下で、「人間回復の経済学」(神野直彦著、岩波新書)に出会い、一筋の光明を見ました。経済のための人間ではなく、人間のための経済、仕事

のための人生でなく、人生を



楽しむための仕事を説く素晴らしい著作です。経済や政治の原点を再確認させられます。

二十世紀に日本人は、安さ、早さ、新しさ、効率、機能、体裁などを第一義的に求め、大切なものを破壊してきました。環境、健康、地域経済、伝統的な職人仕事などは軽視

されたり、瀕死の状態です。安い労働力を求めての海外シフトで何が生き残るのでしょうか。

農業づけの中国からの輸入野菜を、知らずとはいえず、安さゆえに買い求めたことに、消費者の反省も必要ではないでしょうか。価格「破壊」は環境、健康、雇用、国内生産などの破壊の上に成り立っているという認識が必要ではないでしょうか。

日本の気候風土にあわない家造りや安い輸入材が、日本の林業を破壊し、それが環境

社員募集

平和・環境・福祉などテーマ性のある旅行を得意とする会社です。一緒に旅づくりの仕事をしませんか？
○2003年4月より働ける方 ○4大新卒者の方
職種：旅行業務全般（営業） 年齢：27歳まで
▲応募要項、給与勤務条件等をお送りしますのでご連絡ください。 富士国際旅行社 柳下まで

パート・アルバイト募集

○学生の方 ○40歳位までの方
○週4日以上勤務できる方
職種：旅行業務（事務・PC入力・デリバリー等）
時間：9：30～18：00で実働5時間以上
時給：850円～（経験による）交通費支給（規定による）
▲お電話の上履歴書をお送りください。

最寄駅：JR新宿駅南口・中央東口より徒歩8分
地下鉄丸の内線・都営新宿線新宿三丁目駅より徒歩3分
担当：柳下（やぎした） 電話：03-3357-3377
E-mail：yagishita@fits-tyo.com

福祉・環境視察の旅

人間回復の国・北欧の社会サービスを探る スウェーデン・デンマーク福祉の旅

3月19日（水）～26日（水）8日間 297,000円
★ストックホルムへの延泊可能
★グループ住宅、サービスハウスを見学し、高齢者の生活に触れます。
★障害者に優しい街づくりと行政の対応を視察。
★子育て支援と学校教育を視察。
★スウェーデンのオンブズマン制度についてのレクチャー
①東京・成田発、コペンハーゲンへ 列車で人口約9万人、南スウェーデンの都市、ハルムスタッドへ<ハルムスタッド3泊>②終日：ハルムスタッド高齢者・障害者福祉視察（サービスハウスやグループホームの運営や施策など担当者から聞きます）③午前：バリアフリーの街並みを見学 午後：自閉症の子をもつ親の家族会との交流など④午前、列車でコペンハーゲンへ 午後：コペンハーゲン市内見学＝人魚姫の像やアマリエンボー宮殿など<コペンハーゲン3泊>⑤終日：自由行動 e：アンデルセンの故郷オーデンセへ小旅行⑥終日：デンマーク福祉・教育視察（住民運動でつくられた高齢者センターと年金者組合との交流、学童保育や小学校見学、子どものための公園見学⑦午前：自由行動 空路、帰国の途へ<機中泊>⑧東京・成田着

定員12名様



ヨーロッパの進んだ環境政策を学ぶ デンマーク・ドイツの街づくりと環境視察の旅

3月26日（水）～4月2日（水）8日間 350,000円
★デンマークの環境行政（ごみ分別、デポジット制、リサイクルなど）住民参加のリサイクルセンターや風力発電などの自然エネルギーについて視察。
★デンマークの環境教育を視察。
★ドイツ南部「環境首都」フライブルグを訪ね、住民参加の環境政策（交通政策やリサイクルなど）を学びます。
★ドイツの環境団体との交流。
①成田発、コペンハーゲンへ<コペンハーゲン3泊>②終日：コペンハーゲン近郊自治体を訪問（住民との協力による環境政策やリサイクルセンター見学）③終日：小学校訪問（環境教育のプログラムなど） 午後：自由行動④空路、ドイツへ列車で「環境首都」フライブルグへ<フライブルグ3泊>⑤終日：自由行動 e：「環境定期券」を利用して交通政策を見学⑥終日：フライブルグ環境視察（市担当者によるレクチャー、商店街の環境政策について）⑦空路、帰国の途へ<機中泊>⑧東京・成田着



ヨーロッパの新しい社会保障をみる

5月4日（日）～11日（日）8日間 （1月中旬発表）
★「オランダモデル」やワーク・シェアリングにみる雇用政策や「安楽死」問題について見学
★キュウケンホフ公園など、オランダの花々を見学。
★イタリアの地域福祉を担う、社会的協同組合を見学します。福祉サービスに従事する「社会援助者」（日本のケアプランナーにあたる）やヘルパーとの交流や休養ホームや保護ホームを見学します。
①成田／関空発、オランダ、アムステルダムへ
<アムステルダム3泊>
②終日：アムステルダム市内見学＝アンネフランクの隠れ家、西教会、ダム広場など 午後：自由行動 キュウケンホフ公園など自由散策
③終日：オランダ社会・雇用省または外郭団体訪問（オランダの雇用政策などについてのレクチャー）および司法省（「安楽死」問題について）<予定>
④午前：自由行動（視察予備）夕刻、イタリア、ローマへ
<ローマ3泊>
⑤午前：ローマ市内見学＝コロッセオ、トレビの泉、フォッセルディアティネなど 午後：自由行動
⑥終日：イタリア社会的協同組合視察（イタリアでの地域を中心とした福祉システムを見学）<予定>
⑦空路、帰国の途へ
<機中泊>
⑧成田／関空着



上・アンボセリ国立公園でゾウの家族の行進（吉川章さん2002年8月撮影）
下・オルトメ地区のレンジャーにマラリア予防薬を贈るオリンド博士と小原先生



を、実感します。本当に、長い時間をかけて作り上げられてきた東アフリカの豊かな自然、私はこれをできる限り残していきたいと思います。そのために、現地の人たちとの協力が不可欠です。

ゾウの森救援プロジェクト

郵便振替口座
00110-7-566704

ゾウ保護基金
郵便振替口座
00170-7-355897



オリンド博士が今最も力を入れてるのが、オルトメ地区のエコツーリズムです。オルトメ地区はマサイマラ保護区の近くにありますが、マサイマラから失われつつある森があり、また、ここではゾウが繁殖しているらしいのです。アフリカゾウ国際保護基金と協力関係にある日本の団体は左記の二つです。

両団体とも会員制を取っていますが、寄付も大歓迎です。ご協力をお願いいたします。

乾期の涼しさ・寒さ

私の研究テーマは人間の子どもと動物の子どもとの比較発達で、ケニアとタンザニアで動物の直接観察を十数年続けてきました。草原地帯が多くて動物の行動を追いやすい両国は研究上最適の地なのですが、またそれとは別の魅力もあります。



筆者と父・動物学者の小原秀雄先生

自然の歴史が見える

がおいしいと多くの方がおっしゃいます。寒いから冷やさないビールを飲んでいただきます。

東アフリカの大地溝帯には火山が多くあります。それらはほとんどが古く丸みを帯びていますが、雨が少ない地域では今なお溶岩がむきだしのところもあります。植物がなかなか繁殖できないでしょう。少ない雨量の中、気の遠くなるような時間をかけて火山性の土壌の上に植物が繁り、森ができ、動物が進化してきた。そこで人類も誕生した。大地溝帯に立つとどうしても哲学的？ になってしまいます。

大型野生動物の世界

金（AEF）はその点で貴重な団体と思います。

AEFは「アフリカゾウをはじめとするアフリカの野生動物を守るためには、大昔から自然と共に生きてきたアフリカ人たちが自分たちの問題として自然保護活動を進めることが大切。まずは過酷な労働条件の下で働く国立公園のレンジャーたちが仕事に誇りを持てるよう支援しよう。」というオリンド博士の呼びかけによって、一九九〇年五月に設立されました。これまでレンジャーに救急薬を配布し、また保護区近くにくらす地域住民の自立を援助する活動を行ってきました。

元ケニア国立公園局長・アフリカゾウ国際保護基金代表 ペレズ・M・オリンド先生 現地で同行・解説

新企画

タンザニア・サファリの旅

2003年2月20日～3月1日 10日間

1コース定員18人限定 568,000円（羽田・関西空港発） ＊お早めにお問合せください

- 「生きている動物博物館」ともいえるほど動物種の豊富なセレンゲティ国立公園と、世界第2の大噴火口（クレーター）を擁するンゴロンゴロ自然保全区という、タンザニアの2つの世界遺産で、ゆったり連泊。その他、バオバブの巨木群で有名なタランギレ国立公園、カバや鳥類の豊富なマニヤラ湖国立公園など、代表的な国立公園も訪れます。
- セレンゲティ国立公園・ンゴロンゴロ自然保全区では、元ケニア国立公園庁長官・アフリカゾウ国際保護基金（AEF-I）代表の、ペレズ・M・オリンド先生が同行。タンザニアの自然と野生動物についての特別講義を行います。サファリ中も同行していただき、詳しく解説していただきます。（講義・解説には通訳がつきます）
- 添乗員は、アフリカ旅行のスペシャリストである永松真紀さんが同行します。
- ご宿泊ロジは、すべてファーストクラスホテル相当のものをお手配。快適なホテル生活をお過ごしいただけます。
- 訪問時期は雨の少ない乾季にあたり、サファリ・ツアーにはベスト・シーズンの時季です。

大好評!

ケニア・サバンナの旅

Aグループ：2003年3月4日～3月13日

Bグループ：2003年3月6日～3月15日 各10日間

定員各18人 538,000円（羽田・関西空港発） ＊お早めにお問合せください

- 東アフリカの野生生物についての権威であるオリンド先生が、キリマンジャロのふもとに広がるアンボセリ国立公園でのサファリに同行、特別講座も。その後、フラミンゴの大群で有名なナクル湖国立公園、ケニアで最も多様な動物たちが生息するマサイマラ国立保護区へ向かいます。
- 各国立公園では2～3泊のゆったりの旅。
- 日本の団体からの援助で建てられた孤児院兼託児所「サイディア・フラハ子どもの家」訪問。

ケニアの旅 写真展 開催!

- 1月27日（月）～2月7日（金）
●会場：弊社会議室

お気軽にお立ち寄り下さい。
8・9月にケニアツアーに参加された皆さんから推薦された作品より、優秀作品を展示致します。

TRAVEL EYES

あんなトコロ
コンナところ

天窓から唯一見える教会の尖端をアンネは見ていたという。それだけが唯一下界とのつながりだったのか。何か『せつなき』を感じた。そのあとはレジスタンス博物館。そして、「アグネス」というサマーキャンプへの訪問。

その時のことを参加者で元教師の山本さんは、次のように、後で語っていた。

つたのとは大違い。「子どもたちを大切に、生き生きと育てていくには、精神的にも空間的にもゆとりが大切だとつくづく思いました。」と。

統一された景観が素敵、ベルギー

オランダで三泊した後にベルギーの都市を訪問した。高いところから見回した街の景観。屋



オランダにあるベルギーの飛び地 パールレ・ヘルトホのレジスタンスモニュメント

根の色が統一され、ほんとうに気持ちいい。夜は、十一時頃まで明るい。街の広場ではたくさんの方がビールやコーヒを飲み、食事をしながら楽しそうに語らいている。私たちもその輪の中に入り込み、ホテルに帰るのは十時すぎ。本当にのんびりする。海外とは言わなくても、こういう『とき』が年に一回くらいあってもいい。日本の全労働者がこういう経験ができていいはずだというのがよぎった。この国には『カロール』などという言葉は存在しないのだろう。

教職員にとってはすべてが研修だ

学校施設の訪問。異国の道を歩く。異国の人たちのふれあい、などなど。どれ一つをとっても、これは観光で研修ではないなんて言えない。自分が経験したことすべてが、その後の子どもとの関わりに生きていきそうに感じた。



ベルギーの古城

今回のオランダ・ベルギーへの旅。都教組として、はじめての企画。それぞれの都市が統一された景観を保っており、そのことが心におだやかさをもたらしているように感じた。

平和と子どもたち、オランダ

アンネの隠れ家は、今回のメインの一つ。運河沿いになつ普通の事務所。その三階にアンネたちは秘密裏に暮らしていた。

「子どもたちはそれぞれゲームをしたり絵や工作、プールと集団でとても楽しそうでした。ボランティアの教師が私たちの質問に答えてくれました。」

「クラスの人数は？」

「小学校では二十五人程度。中学校でも最大三十人です。」

「不登校の子はいますか？」

「大都市には少しいます。長くなると市の職員が両親の所へ行つて罰金をとります。」

「日本のような社会問題になっていないと感じました。教員の夏休みは六〜七週間。日本では夏休みなしにな

統一された景観と人間を大切に作るオランダベルギー

東京都教職員組合 書記長 田倉孝衛



「子どもたちはそれぞれゲームをしたり絵や工作、プールと集団でとても楽しそうでした。ボランティアの教師が私たちの質問に答えてくれました。」

「クラスの人数は？」

「小学校では二十五人程度。中学校でも最大三十人です。」

「不登校の子はいますか？」

「大都市には少しいます。長くなると市の職員が両親の所へ行つて罰金をとります。」

「日本のような社会問題になっていないと感じました。教員の夏休みは六〜七週間。日本では夏休みなしにな

お客様との心のふれあいを大切にする「ペンション アルプ」

当社推薦の宿+

〒399-9400 長野県北安曇郡小谷村桐池高原 ペンションアルプ 田島満信・淳子
Tel/Fax・0261-83-2604 ホームページ・http://www.d5.dion.ne.jp/~talp
交通・大糸線白馬大池駅からバス7分 松沢口下車徒歩2分
または長野駅から桐池高原直通バス約60分
車の場合・長野自動車道豊科ICから国道147・148号線経由60Km
北陸自動車道糸川ICから国道148号線40km
料金・1泊2食付8,000円～（税込み）

●30数年前に脱サラをした主人が手造りしたスイス風小ロジック
桐池温泉が徒歩2分のところにあり広々としたお風呂を楽しめます
料理は主婦のオリジナルメニューで品数豊富、食事だけのお客様もいらっしゃいます

●後立山連峰を一望しながら、冬はスキー、スノーシュー。春は山菜採り、桐池自然園への散歩。夏は白馬大池まで花を楽しみながらのトレッキングなど。
鐘の鳴る丘ゲレンデへ徒歩5分。年輩者向きにはスノーシューがおすすめで主人がガイドをします。



国内の旅・自然体験

琉球探訪沖縄本島4日間

3月23日（日）～26日（水）
99,000円（大人）
4月27日（日）～30日（水）
6月22日（日）～25日（水）
※費用は1月中旬発表
★南部戦跡・中部基地をしっかりと地元の平和ガイドにより理解を深める平和の旅。

奄美の自然と田中一村

3月16日（日）～20日（木）
※費用は1月中旬発表
★奄美に魅せられ移り住んだ画家・田中一村美術館と自然を満喫

屋久島シリーズ

初夏ヤクシマシャクナゲ咲く季節
屋久島・自然体験 5日間

5月25日（日）～29日（木）
※費用は2月中旬発表
★ヤクシマシャクナゲが咲く宮之浦岳を登山。

自然の宝庫・世界自然遺産の島をあらく
春山麓がいっせいに春を謳歌する季節
屋久島・自然体験 5日間

3月24日（月）～28日（金）143,000円
4月21日（月）～25日（金）141,000円
★終日縄文杉への登山。現地ガイドの案内で自然をより満喫。
★オプションで宮之浦岳登山や白谷雲水峡を散策。

世界自然遺産を歩く

春～新緑の白神山地を訪れる
白神岳登山とブナ林を歩く

6月8日（日）～11日（水）
※費用は2月下旬発表
★日本で初めて世界遺産に登録された白神山地をあるきます。
★日本海を一望できる白神岳を登山。



レブンアツモリソウ

北海道・春の花旅シリーズ

春を彩る アポイならではの高山植物との出会い
“花の宝庫”アポイ岳とニセコ

5月18日（日）～22日（木）
※費用は2月中旬頃発表
★標高800mの低さで高山植物を満喫。
★アポイにしかない花々の咲く季節。

～レブンアツモリソウの季節～
春の花を楽しむ礼文島と利尻島

5月25日（日）～29日（木）
6月 1日（日）～ 5日（木）
※費用は2月中旬頃発表
★北海道の大雪山なら1600m以上でないと見られない花々が低地で咲き乱れる季節を訪れます。

海外通信

.....

イタリア

私の街 アレッツォ市に
いらっしやい!!

石田 幸



歴史と芸術

イタリア・トスカーナ東部に位置するアレッツォ市の起源は、古代ローマ以前のエトルリア時代に遡ります。地理的にフィレンツェとシエナの間に位置することから、古代ローマ時代には戦略上、また経営上、重要な町として栄えました。中世には自由都市国家として栄えながらも、フィレンツェとしばしば対立し、一三〇〇年、不運にもフィレンツェの支配下に置かれ、メディチ家の統治時代に入ります。アレッツォは長い歴史の中で芸術や文学、音楽の分野において、数々の傑出した人物を生み出した市街でもあります。なかでも際立った人物は、画家のピエロ・デッラ・フランチェスカ、建築家であり歴史家でもあるジョルジョ・ヴァザーリ、音符の発明家グイド・モナコ、そして郊外には芸術の天才ミケランジェロの生家もあります。

ル」（アカデミー賞外国映画賞受賞）では、この町の旧市街、ヴァザーリ広場を中心に撮影されました。アレッツォのもう一つの顔は、イタリアン・ジュエリー生産地として世界的に有名なことです。その職人工芸伝統技術の歴史は古く、古代エトルリア時代から現代に受け継がれ、現在アレッツォで生産されたジュエリーは世界中の人々から愛されています。私は自分が生まれたこの歴史的な街を大変愛しています。街中を歩くと上述した何世紀も折り重なった歴史と芸術の息吹を今に伝えているからです。しかし、私が見た今日のアレッツォの若者たちは、残念ながらこの美しいアレッツォの芸術と歴史の遺産を、正しく理解しないで否定的に考えています。



ることも少なくありません。特に農村部には多く見かけます。

サラセン祭り&アンティーク市

夏の終わりはアレッツォ市民を熱狂的にさせるサラセン祭りが行われます。中世時代の衣装と武器で身を固めた兵士が槍を片手に裸馬に乗って競技するのですが、特に警官も出動するほど市民が興奮状態に陥るのです。アレッツォのアンティーク市は毎月第一の土日に開かれ、イタリア全土を始めヨーロッパ各国からも観光客で賑わいます。

近郊のお祭り

毎年特に夏の夜ですが、アレッツォ市の近郊にある村々では各種のフェスタと呼ばれる村人達のお祭りが開かれます。元々は農村であったためにお祭りには郷土色豊かで農作物の収穫や動物の捕獲に感謝したお祭りです。お祭りには村人が自らの手でこしらえた料理が提供さ

れます。伝統的な調理法によって料理された新鮮な夕食とワインが食卓に並びます。アレッツォのワインはキャンティ地方の東側に位置して特に赤ワインが美味です。またエクストラヴァージンオリーブオイルは極めて上質で知られています。

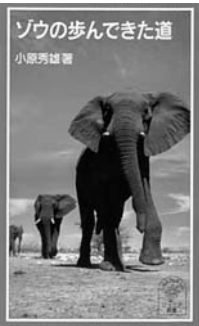
モナリザの里でお泊りは

私の家はアレッツォ市からフィレンツェ方面に十七キロほど寄ったオリーブ畑に囲まれた丘の中腹に在ります。途中アルノ河を渡りますがレオナルド・ダ・ヴィンチのモナリザ橋を渡ると風光明媚で大自然の中に入ります。もし、アレッツォでトスカーナを満喫したい方はご利用ください。ホテルほどのサービスは提供出来ませんが、ファミリー気分を味わってみたい方にはきっと喜んでいただけるものと思います。
ホームアドレス
<http://www.justmarried.it/chisiano.htm>

BOOK GUIDE

「ゾウの歩んできた道」

小原秀雄・著
岩波ジュニア新書（定価780円）
35年間アフリカに通いつづけ、アフリカの野生動物の保護活動を通して国際的にもその中心的な役割を果たしてきた著者が、ゾウのくらしと生態、ゾウの子育てなどゾウ社会のことを思う存分に語ります。また、ライオンやヒョウ、チーターやハイエナなどアフリカの野生動物界についても判りやすく紹介されています。野生動物が激減する今日、ゾウの歩む「道」を通して人間社会がとるべき「道」は何かが鋭く問われます。



「ゆるゆる ふっくり」

横井久美子・著
新日本出版社（定価1,500円）
アイルランド、北アイルランド、オランダ、アメリカ、ベトナム、ポーランド、ニカラグア、コスタリカ、アフガニスタンへ訪問した国、コラムで取り上げた国は様々ですが、20世紀から21世紀にかけてこの三年間の激動の時代を、著者が音楽を通して行ってきた草の根の国際交流が生き生きと語られています。



シンガーソングライター 横井久美子さんに行く

2つのツアー＆コンサート

「禁じられた歌」ポーランド・チェコ

7月24日～8月1日（9日間）20名以上・457,000円（成田空港発着）
ワルシャワ2泊→クラクフ2泊→プラハ3泊→機中泊

第5回「私の愛した街」アイルランド

8月14日～8月22日（9日間）20名以上・458,000円（成田空港発着）
リマリック2泊→アラン島2泊→デリー2泊→ダブリン1泊→機中泊
各コース募集定員28人（最少催行人員20人）

中 米 ・ ヨ ー ロ ッ パ

軍隊のない国・地上の楽園
コスタリカ メキシコの旅 10日

4月14日（月）～4月23日（水） 395,000円
定員15名 最低実施10名 成田空港発着 添乗員同行
①東京・大阪発 5 メキシコへ（メキシコシティ着）
②終日：メキシコシティ市内見学（考古学博物館、ソカロ広場など）。夕刻メキシコシティ発 5 空路、コスタリカへ（サンホセ泊）
③午前：サンホセ市内見学。午後：アリアス平和博物館訪問。平和外交レクチャー（サンホセ泊）
④サンホセ発 6 エコツアーへ。途中、自然生物体系教育機関でコスタリカの自然を知り、カリブ海にあるトルトゲーロ国立公園へ。ワニやナマケモノ、多様な鳥類などを眺めながらジャングルクルーズを（トルトゲーロ泊）
⑤ジャングルをエコガイドの案内で散策。午後：自由行動（トルトゲーロ泊）
⑥トルトゲーロ 6 多様な鳥類で知られるブラウリオ・カリージョ国立公園へ。ジャングルウォーク（ブラウリオ・カリージョ泊）
⑦再びサンホセへ。午後自由行動（サンホセ泊）
⑧朝空路メキシコへ。午後自由行動（メキシコシティ泊）
⑨メキシコシティ発 5 帰国の途へ（機中泊）
⑩東京・大阪着

パリからロンドン・カントリーサイド、美しき田舎訪ねて
北フランスとイギリス 10日

5月14日（水）～5月23日（金） 458,000円
7月 9日（水）～7月18日（金）（¥2月下旬発表）
7月30日（水）～8月 8日（金）（¥2月下旬発表）
9月17日（水）～9月26日（金）（¥2月下旬発表）
★パリでの美術散歩とゴッホ終焉の地オーベルシュオワーズ、印象派の巨匠モネの家と庭園が残るジベルニーへ。
★ジャンヌ・ダルクで有名な古都ルーアン、モネやブータンの絵で有名なオンフルールへ
★ドーバー海峡をフェリーで渡り、イギリス・ロンドンの郊外へ。美しい田舎巡りへ。
★コッツウォルズの街で3泊し、そこから丸二日間、バスやウォーキングで時代に取り残されたような小さな街や村を歩きます。
●パリ2泊、ルーアン3泊、カレーからドーバー海峡渡りイギリスへ。チェルトナム3泊、コッツウォルズの美しい田舎の町や村巡り

三上満さんとAALAユースネット
メキシコ・コスタリカ 世代をつないで行く中米の旅

2003年2月24日（月）～3月5日（水）
旅行費用：389,000円（学生・ユースネット会員は割引あり）
定員：30名 申し込み締め切り：2003年1月24日（金）

トスカーナの古都、豊かな田園、芸術と文化に触れる
ルネッサンス イタリア 10日

4月16日（水）～4月25日（金） 348,000円
5月 7日（水）～5月16日（金） 368,000円
6月11日（水）～6月20日（金）（¥2月下旬発表）
★街そのものが美術館のフィレンツェ、シエナ。ルネッサンスの都をゆったりした日程で訪れる。美術に造形の深いガイドさんがイタリア着から旅の最後までご案内いたします。
★フィレンツェではボッティチェリ、ラファエロ、ミケランジェロの作品訪ねて美術鑑賞。市内を二日間フリーパスを使って移動。
★シエナで貝殻型をした美しい広場中心に町歩き、市庁舎にある必見フレスコ画「クイドリッチョ・フォリアーノ」鑑賞
★ワインの産地、豊かな食文化のトスカーナの田舎巡り。キャンティ・クラシコのふるさと、ワイン農園で試飲とお食事、そして宿泊も楽しめます。
★小さな魅力的な街サンジミニャーノ、モンタルチャーノへ
●フィレンツェ4泊、トスカーナの田舎ディエボレ2泊、シエナ2泊、機中泊

- アメリカの「裏庭」と呼ばれる中米。平和と主権のためにたたかう人たちと交流
- 「生物の宝庫」・熱帯コスタリカの豊かな自然を満喫
- メキシコの文化と芸術、世界遺産の数々をたっぷりと
- 世代をつなぐ旅だからこそ、新しい発見と感動の魅力満載

「世界の山々を歩く」集いとティーパーティのお知らせ

3月22日（土）13時～16時 春～秋のハイキング、トレッキング ウォーキング

◎今年のツアーをビデオや写真を通して説明いたします。

◎詳細や参加ご希望の方は事前に担当・市村へ

「世界の山々をあるく」写真コンテスト 入賞者発表

秋の大阪及び東京での写真交換会では、ご参加の皆様の審査で下記の方々の写真が入賞となりました。以下の発表とさせていただきます。

- 一等賞

スイス・アルプス ハイキング参加

渡辺正隆様
- 二等賞

中国・フラワー トレッキング参加

田中光春様
- 三等賞

スイス・アルプス ハイキング参加

工藤金吾様
- 四等賞

カナディアン・ロッキー ハイキング参加

滝沢松枝様
- 五等賞

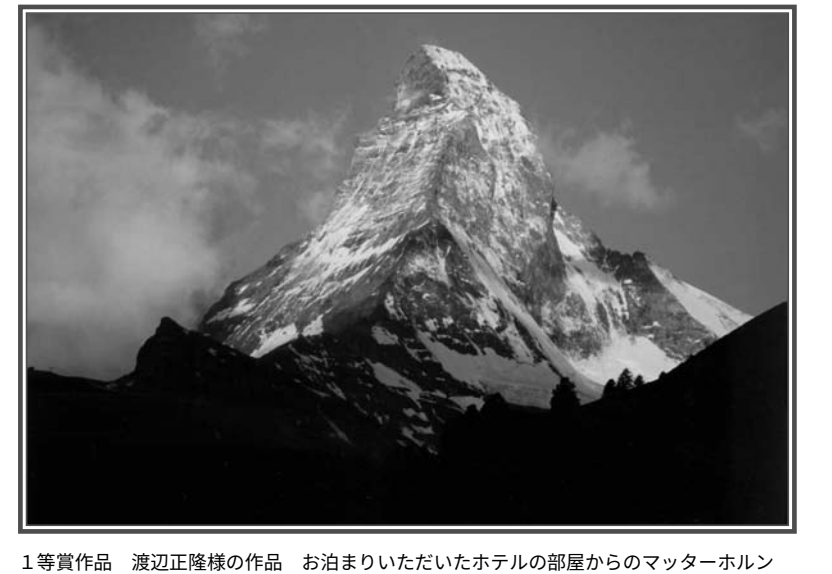
スイス・アルプス トレッキング参加

田波紀夫様
- 五等賞

スイス・アルプス ハイキング参加

中塚 明様

ご入賞の皆様おめでとうございます。めでたく入賞された6名様及びコンテストにご応募いただいた皆様には、ささやかですが副賞と参加賞を贈らせていただきました。



1等賞作品 渡辺正隆様の作品 お泊まりいただいたホテルの部屋からのマッターホルン

魅力ある旅行を創りたい

原沢喬司

こんにちは

社員登壇

「新人社員らしくない」と言われるようになってしまった新入社員です。理由は、電話の声が四十歳代に聞こえる。図々しい。など様々あるようです。本人はあくまでフレッシュな気持ちで仕事に臨んでおります。

早一年近くが経ってしまいましたが、四月に入社して以来、脇目も触らず突っ走ってきたというのが現在の実感です。様々な失敗や失態を数え上げれば切

りがありませんが、添乗でお会いした皆様や諸先輩方のお陰で何とか今日に至ることができました。

もともと旅行が大好きというわけではなく、仕事にするとは考えてもみませんでした。しかし学生時代、自分が何から学んだかを考えると、旅行というものを通して見えてきたものがいぶん多かったと感じています。航空券だけを持ち、何の計画も立てずに行った東南アジア。AALAユースネットの仲間たちと行った韓国、プエルトリコ、アメリカ。五日間かけて、鈍行からフェリーに乗り継いで渡ったトカラ列島。卒業を期に訪れた沖縄。どの旅でも

自分の生活範囲の中にあるだけでは決して見えてこないものを見、感じ、考えることができました。

旅の一番の魅力は、自分とは異なるものに触れられることだと思います。言語・料理・風習・お酒……。「日本の常識は世界の非常識」と言われることもありですが、外に出て初めて気付いたり、外に出たからこそ見えてくる日本の姿・自分の姿があると思います。海外に行かずとも、同じ日本でも知らない場所がたくさんあります。国内旅行担当ということもあり、自分の知らなかった日本に驚いたり、改めて日本を好きになったり。そんな毎日を楽しんでおります。

北海道や屋久島などの自然を楽しむ旅にご一緒させていただきましたが、行くたびに驚くのは大型の団体旅行者が多いことです。

です。たくさんの方が自然に親しみ、その素晴らしさに触れること自体は大変喜ばしいことですが、その反面、遊歩道を踏み外したり、植物を盗掘したりする旅行者が後を絶たないということです。旅行にかかわる者として非常に心が痛む話ですが、自分も旅行業の一端を担う人間として、このような問題をきちんと考えていかなければいけないと思っております。何より僕自身が群馬の片田舎で、山を駆け回って育ってきたので、その思いは格段です。

まだまだ経験浅い若輩者ですが、皆さんに鍛えられながら魅力ある旅行を創っている社員になりたいと思っております。そのためにまず自分が魅力的にならねば……。お会いできることがありましたら、ガシガシ鍛えてくださいますようお願いいたします。

編集後記

自らを正義と称して、他人を“ならず者”呼ばわりし、大多数の意見や世の中のルールを無視して、話し合いをせず問答無用で攻撃しようとしている人がいます。

TVのニュースを見ていた娘が言いました。

「ならず者ってどんな人？」

広辞苑には“ならず者”とは、「①暮らしが思うようにならない者。②悪いことばかりして手のつけられない者。道楽者。③一定の職業がなく、放浪してゆすりなどをする者。無頼漢。ごろつき。やくざ。」と書いてあります。

①は、今の日本では自分も含めて大多数の人がならず者になってしまっています。

②③だと、かなり範囲は限定されます。

「戦争をしないと」「国益、本当は自分の利益や地位が守れないと言うような大統領を“ならず者”と言うんだよ」と答えましたが、説明になったかどうか疑問です。

アメリカは、イラクの喉元に四艦隊をつきつけ、些細なことでも直ちに攻撃をする準備を完了したようです。

ベトナム戦争終結から二八年、国際世論で戦争は止められる！再びその確信を深める一年がスタートしました。

(MK)

ウォーキング・トレッキング

縦走型トレッキング

アルプスの峠越え モンブランからマッターホルンへ オートルート 14日間

マルティニ②～ディス湖畔①～ディス小屋①～アローラ②～ズィナル③～ホテル・ヴァイスホルン①～ブリーク②

7月25日発 8月15日発

ツェルマットからイタリア側の6つの峠を越えてサースフェーヘル ツール・モンテローサ 14日間

ベルン①～ツェルマット②～チェルビニア①～イタリア側の谷②～アラニヤ②～マクニヤガ②～サースフェー② 7月13日発

季節ごとの山の花との出会い

スイス・アルプス 花の旅

湖畔の牧草地や樹林帯の花を訪ねる10日間

ルツェルン①～ロカルノ③～インターラーケン②～レマン湖畔②

4月24日発 458,000円 5月12日発 423,000円

雪解け直後のアルプに春の花を訪ねる10日間

カンダーシュテーク②～レッチェンタール②～ミューレン④

6月11日発 399,000円 6月18日発 408,000円

世界の山々をあるく 春～秋の予告編

キャンティワインの故郷の野山を歩き郷土料理を楽しむ イタリア・トスカーナウォーキング10日間

3月12日発 349,000円 4月16日発 358,000円

5月 7日発 373,000円

フィレンツェ②～キャンティ地方④～シエナ②

●辺り一面ブドウ畑の中をウォーキング。アルプスとは違う、本当のヨーロッパの田舎の道を歩きます。野辺の花も楽しめる春。

●トスカーナ地方の田舎料理と豊かな自然と歴史が育んだ最高の贈り物、キャンティワインも楽しめます。

●ウォーキングは午前中のみ。無理のない行程でどなたでも気軽にご参加いただけます。

●宿泊は古城やアグリトゥーリズモ（農家の経営する宿）。プチホテルにも。ゆったりとした時間を楽しめます。

●芸術と歴史の薫るフィレンツェとシエナにも連泊

2500m前後のアルプに夏の花を訪ねる10日間

カンダーシュテーク②～克蘭・モンタナ③サースフェー③

6月26日発 399,000円 7月10日発 438,000円

真夏のアルプと高山の花を訪ねる12日間

ルツェルン①～ミューレン③～山荘①～ツェルマット②～ヒュッテ①～カンダーシュテーク② 7月20日発

初心者・中高年向け・・ロッジに泊るエコトレック ネパール アンナプルナ・ダウラギリ展望トレッキング

2月 5日発 348,000円 2月26日発 343,000円

3月23日発 366,000円

△3月23日出発はアンナプルナ山群のロッジ5泊で11日間

△羽田空港からご参加の方は国内線往復15,000円の追加料金 カトマンズ②～ポカラ①～アンナプルナ山群のロッジ⑥～カトマンズ② 12日間

●ロッジでの宿泊はテントよりはるかに疲れが癒せ、楽しめます。

●トレッキング中の最高地点は3200m、宿泊地の最高地点が2750mなので、高山病の心配が殆んどありません。

●展望台ゴレパニに3連泊。のんびり型の山旅です。身軽に3～5時間歩ける方ならご参加いただけます。

●世界最高峰を眺めるヒマラヤ遊覧飛行の代金や、森林伐採な深刻なネパールの大地への植樹代、現地環境保護団体等の交流費も旅行費用に含まれております。

家族でも、初心者も楽しめる

マッターホルン・アイガー 展望の旅

スイス・アルプス ハイキング 9日間

ベルン①～ツェルマット③～ミューレン③

6月15日発 6月22日発 6月28日発

7月 3日発 7月20日発 7月27日発 8月 9日発

~~~~~その他、4月～9月までのウォーキング、ハイキング、トレッキングツアーをご用意しております。詳細なパンフレットをご請求ください。~~~~~

ベルリンの新たな名所と戦争博物館を訪ねて

Germany Berlin

かつての首都の顔に  
昨夏十三年ぶりに、統一後初めて訪れて、首都の機能と顔をとりもどし、変身しつつあるベルリンの街並みに出会った。東西分断の象徴であったブランデンブルク門を朝のジョギングで走り抜けてみて、歴史の流れを実感できた。門から東にはしるウンターデンリンデン大通りと、西の「六月一七日通り」が一直線の道であることは、「壁」がなくなって初めてわかる光景であった。

ウンターデンリンデン大通りは、パリのシャンゼリゼを模してシックな風情をとりもどしている。門の横には「二十世紀の初頭にオープンし、第二次大戦で破壊された由緒あるホテル・アドロンも五年前に元の姿で再建された。

東ドイツの国会であった共和国宮殿は廃屋となり、かつて日本のゼネコンが建てた五ツ星のパラスト・ホテルは有害建材



チェックポイント・チャーリーの壁博物館  
壁ショップでは壁絵などの壁グッズが売られている

を使っていたため解体されたとのこと。旧東ベルリン地区の様変わりもダイナミックだ。

**新名所が続々登場**  
一九世紀に建てられた帝国議会議事堂はナチスの放火や戦禍で廃墟となったものが統一後、九九年の連邦議会のベルリン移転にむけて全面改修された。議事堂の屋上のガラスのドームは一般見学が許され、深夜0時まで見学者が列をなしている。

統一後、統合や改修のため休館となっている博物館も多いが東西の絵画を集めた絵画館ピカソなどの作品を展示するベルクグリユン・コレクションなど五年以内にオープンした新美術館も見逃せない。

統一後の歴史の見直し  
ノイエ・ヴァッヘ（新衛兵所）は、東ドイツ時代は「ファシズムと軍国主義の犠牲者のための警告廟」として永遠の火が

ていた。その周辺には新たな建物や記念碑などが続々と造られている。ブランデンブルク門の一キロ南のポツダム広場の周辺は、かつて目立った建物はベルリン・フィルハーモニ

ただ、大再開発によりソーニー・センターなど近代的なビルが続々と登場している。



暴力のトポグラフィー（地誌）展示場  
元のゲシュタポ本部跡、後の「壁」の跡

二〇〇一年にはユダヤ博物館がオープンし、ブランデンブルク門のすぐ南には、国立のユダヤ人犠牲者慰霊碑が建設中。郊外にはユダヤ人絶滅計画を決めたヴァンゼーの館にヴァンゼー会議記念館がヴァンゼー会議五十周年の九二年に開館し、小規模ながらホロコーストの歴史を展示している。旧ゲシュタポ本部跡で、「壁」の壊された跡の屋外に九七年から「テロル（暴力）のトポグラフィー（地誌）」という仮設展示があり、追って博物館になるとのこと。

「壁」に関するものでは、元の検問所のチェックポイント・チャーリー前の壁博物館も人気の場所。他に壁記念センターがベルナウアー通りにある。

ドイツ抵抗運動追悼所というレジスタンス運動の展示をした博物館もあるが知る人は少ない。ヒットラー暗殺計画、白バラ抵抗運動、反ファシズムの社会主義者なども紹介されている。

郊外のザクセンハウゼン収容所、ラーフェンスブリュック収容所なども統一後に展示や碑文が変わっている。

ドイツ歴史博物館は国立の歴史博物館の本館ともいえるが、改装中で新たな常設展示での二三年後の開館が待たれる。昨年春には仮設展示館でホロコースト六十年周年の特別展が開かれていた。

英語の資料のある博物館もあるが、展示の解説はほとんどドイツ語のみなのでガイドが必要。紙面の都合でドイツ語名や所在地を記載できなかったの必要な方はお問い合わせ下さい。

市原芳夫

**新たな歴史博物館**  
数多くの戦争に関する博物館や慰霊碑、記念館などが、戦後五十年をすぎても建設されていることに、ドイツ人の「過去の克服」の姿勢が確固としたものであることがうかがえる。

戦争と平和・芸術の旅

バルトの国・エストニアとフィンランド  
芸術と革命の都サント・ペテルブルグ

6月16日～6月25日（10日間）489,000円  
募集定員20人（最少催行人員15人）  
タリン3泊→ヘルシンキ2泊→サントペテルブルグ3泊→機中泊

- ★美しい白夜の季節、バルト三国のエストニア・首都タリンへ。ユネスコ世界遺産に指定されたおとぎ話から抜け出したような街並みとバルト伝統の合唱グループとの交流を楽しみます。
- ★バルト海を船で渡り、清楚な美しさで「バルト海の乙女」と称されるフィンランドの首都ヘルシンキへ。シベリウスなど巨匠たちが愛した、水と緑豊かな街をゆったりと散策。
- ★特急列車「シベリウス号」でロシアの古都サント・ペテルブルグへ。ロシア皇帝の「冬宮」であったエルミタージュ美術館で壮麗な建築と世界有数のコレクションをじっくり見学。生演奏のあるレストランでロシア民謡も心ゆくまでお楽しみ下さい。

戦争と平和考える  
ポーランド アウシュビッツの旅9日

3月29日（土）～4月 6日（日） 336,000円  
5月17日（土）～5月25日（日） 255,000円  
ワルシャワ2泊→クラクフ3泊→ワルシャワ2泊→機中泊

- ★アウシュビッツを2日間かけて見学し、生存者の方から当時のお話を伺い、ボランティアと平和について語る
- ★アンジェイ・ワイダの映画の舞台ワルシャワとショパンの生まれ故郷ジェラズバ・ポーラ訪ね、ピアノコンサート

ベルリン戦争史跡とヨーロッパの歴史教科書対話  
「過去の克服」ードイツとポーランドの歴史と文化にふれる

8月18日（月）～27日（水）10日間 493,000円  
ハノーファー1泊→ベルリン3泊→オシフィエンチム1泊→クラクフ2泊→ワルシャワ1泊

- ★ドイツとポーランド2国間の歴史教科書対話を中心となつてすすめているゲオルグ・エックハート国際教科書研究所を訪問。
- ★ホロコースト計画から60年が過ぎた現在、平和の誓いも新たに、ユダヤ人絶滅が計画されたヴァンゼー会議記念館を訪問。ポツダム会談が行われた宮殿も見学。
- ★「壁」によって東西に分断されていたベルリンの歴史と変貌を新しい博物館や記念碑によって整備されつつある戦争史跡などを見学しつつ文化にもふれる。
- ★アウシュビッツ強制収容所近くにある国際青年会館に宿泊（予定）をし、ボランティア青年・会館責任者と平和教育等について交流。
- ★2日間かけてじっくりアウシュビッツ、ビルケナウ収容所を見学。前館長のスモーレン氏のレクチャーも予定。
- ★本場ポーランドのショパンのピアノ・コンサートを鑑賞。

企画：第27回 歴教協ヨーロッパの旅



ビルケナウ強制収容所

ふたつの音楽祭「ブラハの春」と「ウィーン芸術週間」へ  
チェコとオーストリアの旅 10日

5月7日（水）～5月16日（金）377,000円  
ウィーン3泊→チェスキー・クロムノフまたはその近郊2泊→ブラハ3泊→機中1泊

- ★新緑の季節。ライラックとマロニエの花が咲き、「麗しき5月」に3週間にわたって開かれる「ブラハの春」音楽祭。街のあちこちで開かれるコンサート。ハイライトのスメタナの「わが祖国」をお楽しみいただきます。
- ★音楽の都ウィーンでは「ウィーン芸術週間」が開かれます。演劇、美術も含めた総合芸術とオペラなどが楽しめます。
- ★「美しき青きドナウ」を眺めながら、南ボヘミアへ。緩やかに続く緑の野を走り、ユネスコ世界遺産指定のチェスキークロムノフへ。中世の雰囲気をもそのまま残す歴史の街を散策。
- ★ハンガリーとの国境に近いアイゼンシュタットへの小旅行もお楽しみいただけます。ハイドン縁の街見学。



ブラハの記念館前のスメタナ像